

RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータのトンネルの片側でDynDNSを使用したゲートウェイ間VPNトンネルの設定

目的

ダイナミックドメインネームシステム(DDNS)では、IPアドレスではなくドメイン名を使用してサーバにインターネットアクセスできます。DDNSは、ISPによって絶えず変更されるダイナミックIP割り当てをクライアントが受け取った場合でも、IPアドレス情報を維持します。この設定では、サーバはIPアドレスに関係なく常に使用可能です。このサービスは、DDNSサービスプロバイダーとのアカウントを確立した後でのみ使用できます。

このドキュメントの目的は、RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータで、ローカルグループ側でDynDNSを使用し、リモートグループ側でドメイン名が登録されたスタティックIPを使用してゲートウェイVPNへのゲートウェイを設定する方法について説明することです。

適用可能なデバイス

- RV016
- RV042
- RV042G
- RV082

[Software Version]

•4.2.2.08



VPNトンネルの設定

DDNSの設定

ステップ 1 : www.dyndns.orgにアクセスし、ドメイン名を登録します。

ステップ 2 : Router Configuration Utilityにログインし、Setup > Dynamic DNSの順に選択します。ダイナミックDNSページが開きます。

ステップ 3 : WAN1のEditアイコンをクリックします。

Dynamic DNS			
Interface	Status	Host Name	Configuration
WAN1	Disabled	--	
WAN2	Disabled	--	

Edit Dynamic DNS Setupページが開きます。

Dynamic DNS			
Edit Dynamic DNS Setup			
Interface :	WAN1		
Service :	<input type="text" value="DynDNS.org"/>		
Username :	<input type="text" value="User1"/>	<input type="button" value="Register"/>	
Password :	<input type="password" value="....."/>		
Host Name :	<input type="text" value="User1"/>	<input type="text" value="Example"/>	<input type="text" value="com"/>
Internet IP Address :	0.0.0.0		
Status :			
<input type="button" value="Save"/>		<input type="button" value="Cancel"/>	

ステップ 4 : ServiceドロップダウンリストからDynDNS.orgを選択します。

ステップ 5 : Usernameフィールドに、DynDNS.orgアカウントのユーザ名情報を入力します。

手順 6 : Passwordフィールドに、DynDNS.orgに登録されているユーザ名に対応するパスワードを入力します

手順 7 : Host Nameフィールドにホスト名を入力します。

注 : Edit Dynamic DNS Setupページの残りの2つのフィールドには情報が表示され、設定はできません。

- ・ インターネットIPアドレス : ルータのIPアドレスを表示します。このアドレスはダイナミックであるため、変更されます。
- ・ ステータス - DDNSのステータスを表示します。エラーが発生した場合は、DDNS情報が正しく入力されていることを確認します。

ステップ 8 : [Save] をクリックします。

サイト1からサイト2へのVPNトンネルの設定

ステップ 9 : Router Configuration Utilityにログインし、VPN > Gateway to Gatewayの順に選択します。ゲートウェイからゲートウェイへの接続ページが開きます。

Gateway To Gateway

Add a New Tunnel

Tunnel No.	1
Tunnel Name :	<input type="text"/>
Interface :	WAN1 ▼
Enable :	<input checked="" type="checkbox"/>

Local Group Setup

Local Security Gateway Type :	IP Only ▼
IP Address :	0.0.0.0
Local Security Group Type :	Subnet ▼
IP Address :	192.168.1.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

Remote Group Setup

Remote Security Gateway Type :	IP Only ▼
IP Address ▼ :	<input type="text"/>
Remote Security Group Type :	Subnet ▼
IP Address :	<input type="text"/>
Subnet Mask :	255.255.255.0

IPSec Setup

Keying Mode :	IKE with Preshared key ▼
---------------	--------------------------

注：このページから移動する前に、Saveをクリックして設定を保存するか、またはCancelをクリックして設定を元に戻します。

ステップ 10：Tunnel Nameフィールドに、サイト1とサイト2の間のVPNトンネルの名前を入力します。

Gateway To Gateway

Add a New Tunnel

Tunnel No.	1
Tunnel Name :	Site2
Interface :	WAN1
Enable :	<input checked="" type="checkbox"/>

注：トンネル名は参照用であり、VPNトンネルの反対側で使用される名前と一致する必要はありません。

ステップ 11 Interface ドロップダウンリストから、このトンネルに使用する WAN ポートを選択します。

ステップ 12 VPN トンネルを有効にするには、Enable にチェックマークを付けます。VPN トンネルが作成されると、このチェックボックスは無効になります。

ステップ 13 Local Group Setup 領域で、Local Security Gateway Type ドロップダウンリストから Dynamic IP + Domain Name (FQDN) Authentication を選択します。

Local Group Setup	
Local Security Gateway Type :	Dynamic IP + Domain Name(FQDN) Authentication
Domain Name :	User1.example.com
Local Security Group Type :	Subnet
IP Address :	192.168.1.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

ステップ 14 : Domain Name フィールドに、登録済み DynDNS ドメイン名を入力します。

ステップ 15 : Local Security Group Type ドロップダウンリストから Subnet を選択します。ローカルセキュリティグループタイプは、VPN トンネルを使用できる LAN リソースを定義し

ます。

Local Security Group Type :	Subnet
IP Address :	192.168.1.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

ステップ 16 : IP AddressフィールドにIPアドレスを入力します。

ステップ 17 : Subnet Maskフィールドにサブネットマスクを入力します。

ステップ 18 : Remote Group Setup領域で、Remote Security Gateway TypeドロップダウンリストからIP Onlyを選択します。

Remote Group Setup	
Remote Security Gateway Type :	IP Only
IP Address :	10.10.10.2
Remote Security Group Type :	Subnet
IP Address :	192.168.2.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

ステップ 19 : 次のドロップダウンリストからIP by DNS Resolvedを選択して、デバイスを1つ指定します。

Remote Group Setup	
Remote Security Gateway Type :	IP Only
IP Address :	10.10.10.2
Remote Security Group Type :	Subnet
IP Address :	192.168.2.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

ステップ 20 : ドロップダウンリストからIP by DNS Resolvedを選択した後、横のフィールドにルータの登録済みドメイン名を入力します。

Remote Group Setup	
Remote Security Gateway Type :	IP Only
IP by DNS Resolved :	Example.com
Remote Security Group Type :	Subnet
IP Address :	192.168.2.0
Subnet Mask :	255.255.255.0

ステップ 21 : Remote Security Group TypeドロップダウンリストからSubnetを選択します。Remote Security Group Typeは、リモートLANのどのリソースがVPNトンネルにアクセスできるかを指定します。

ステップ 22 : IP AddressフィールドにサブネットワークIPアドレスを入力します。

ステップ 23 : Subnet Maskフィールドにサブネットマスクを入力します。

ステップ 24 : IP Sec Setup領域でPreshared Keyフィールドを見つけ、リモートIKEピアの認証に使用する事前共有キーを入力します。最大30文字のキーボード文字と16進数値を入力できます。VPNトンネルの両端で、同じ事前共有キーを使用する必要があります。IPSec Setup領域のその他のフィールドでは、デフォルト値を使用できます。

IPSec Setup

Keying Mode : IKE with Preshared key

Phase 1 DH Group : Group 1 - 768 bit

Phase 1 Encryption : DES

Phase 1 Authentication : MD5

Phase 1 SA Life Time : 28800 seconds

Perfect Forward Secrecy :

Phase 2 DH Group : Group 1 - 768 bit

Phase 2 Encryption : DES

Phase 2 Authentication : MD5

Phase 2 SA Life Time : 3600 seconds

Preshared Key : cisco support

Minimum Preshared Key Complexity : Enable

Preshared Key Strength Meter :

Advanced +

Save Cancel

ステップ 25 : Saveをクリックして、変更を保存します。

注 : ステップ9 ~ 25に従って、もう一方のルータを設定します。このとき、ローカルグループ設定とリモートグループ設定を切り替える設定を使用します。最初のルータのLocal Group Setupエリアで行った設定が、2番目のルータのRemote Group Setupエリアの設定になります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。